

令和2年4月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和2年4月9日(木) 13時30分～14時48分
- 2 場 所 高原町中央公民館2階第2会議室
- 3 出席委員 教育長 西田次良
教育委員 福丸幸治、後藤良文、今西美穂
- 4 欠席委員 教育委員 有水りえ子
- 5 事務局 教育総務課
課長 末永恵治 対策監 酒井昭弘
課長補佐 江田雅宏 係長 外村英樹

6 会議内容

◎開 会

13時30分

【1 開会】

西田教育長 開会を宣告する。

【欠席委員の報告】

西田教育長 有水委員、欠席の報告をする。

【2 議事録署名委員の指名】

西田教育長 議事録の署名人に、教育長と福丸委員を指名する。

【3 教育委員会の現況報告】

西田教育長 新型コロナウイルス感染状況の関係で、3月2日から学校は、臨時休業している。その間、3回の登校日があり、卒業式は、来賓、在校生の出席なし、そして一部省略で実施している。

学校では、その間家庭訪問等を行い、子どもたちの把握はしている。

子どもに特に大きな事故はなかったが、車と自転車の接触が1件、職員が自損事故を起こしている。

昨日、4月7日に始業日を迎え、始業日の子どもの出席状況は、小学校と中学校それぞれ3名ずつの欠席があった。発熱による欠席は小学校が1名、それに伴って兄弟が様子を見るということで、中学生が1名欠席という状況である。

緊急事態宣言がなされて、7都府県に3月25日から4月8日まで、滞在をした教職員の調査を行い、いずれも「なし。」という報告を受けている。

本日、中学校の入学式を行い、一般来賓なしで行っている。高原中が68名、後川内中が5名の73名の入学である。明日10日が小学校

の入学式であり、高原小学校が71名、広原小学校が10名、狭野小学校が2名、後川内小学校が5名の計88名が入学式を迎える予定である。

今回の異動で校長が3名、教頭が4名、教職員26名が異動をしている。臨時町雇用合わせ35名の異動ということである。

町雇用は、学習指導充実推進教員が4名、広原小学校、狭野小学校、後川内小学校、高原中学校に1名ずつ配置している。特別支援教育支援員については、昨年から2名増やし、6名配置している。高原小3名、広原、狭野小学校、高原中学校に1名配置している。教育相談員については、今年度から教育調整監という職名で2名体制にしている。教育相談を始め、本町の教育課題解決のために充実させていきたいと考えている。用務員については、1名増やし、後川内は小中1名、あと各校に1名ずつ用務員の方を配置している。

次に社会教育については、ほとんどの行事、生涯学習講座も含めて、延期、中止している。

会議についても、このような状況なので、学校、社会教育両方とも、今後このコロナの対応については、全く予測がつかない状況であり、また新たな対応を強いられるということになるかもしれないと考えている。

【4 議事日程】

●「日程第1 報告事項」

末永課長 (資料に基づき報告)
～質疑なし～

●「日程第2 連絡事項」

末永課長 (資料に基づき報告)
～質疑なし～

●「日程第3 検討・協議事項」

《1 職員の事故等について》

西田教育長 人事案件につき、非公開とすることに了承をとる。

非 公 開

《2 高原町教育基本方針・令和2年度高原町教育努力重点事項について》

酒井対策監 (資料に基づき説明)

～質疑～

福丸委員

11ページの(2)社会教育の充実のイとウですが、高齢の方が、各地区の大会、また県大会に出場する場合のバス等の交通手段の手助けについて各種団体の声もあがっているので、お願いします。

～回答～

江田補佐

この件に関しては、利用できるかどうかについて精査をさせていただきたいと思っている。ここでの即答はできかねるのでご理解をいただきたい。

《3 令和2年度一貫教育の取り組みについて》

酒井対策監 (資料に基づき説明)

西田教育長 一貫教育については、10年目に入り、充実、改善をしていくために変更していくところがある。

～質疑～

後藤委員

体験学習等にご協力いただけるボランティアの方々がどれくらいいるのか、県を超えて体験学習を実施していれば、地域、内容をどのように選定しているのか。

～回答～

酒井対策監

ふるさと学習については、学年によってさまざまである。ふるさと学習ということなのでふるさとの人材をメインに選定している。昨年度は6事業所にきていただいて、キャリア教育の一環として話をさせていただいた。6事業所の人数は把握していないが、中学校2年生についてはそのように実施した。小学校4年生では、ごみ処理の仕方ということでえびの市美化センターに行って社会科見学を行っている。写真にある体験学習については、スーパーマーケットについて学習しようということで地元のスーパーにご協力をいただき、学校の意図として、このようなことを学びたいと事前に打ち合わせをしたうえで見学をさせていただいている。そういった形態でのご協力をいただいている。ボランティアの総数は把握していない。お尋ねの県外でのということでは、一貫教育ではふるさとの地域素材を重視した取り組みを行っている。

《4 令和2年度教育委員会所管予算について》

末永課長 (資料に基づき説明)

～質疑～

福丸委員

1名から2名に増えた理由として、相談件数の増加、内容の複雑化

とあるが、どのくらいになっているのか。

～回答～

外村係長

本町において他市町村と比べた時に最も弱いのが、就学前の相談、そこから小学校、中学校に行く過程において、現在の特別支援教育のあり方に全くついて行っていないという状況が散見されている。実際に学校の現場で教鞭を取っていた、もしくは学校経営に携わっていた方を配置して、学校と連携して、保護者と対話ができる環境を整えることが大事であるので、教育相談員から教育調整監として、人員も2名に増員した。これは、相談内容の高度化とより本町が積極的に就学相談に応じるという体制を整えることを第一義と考えたもの。現在、小学6年生を適応教室で受け入れているが、適応指導教室に複数名の子どもが来た際にも柔軟に対応できる体制を整えたかった。

高原町の掲げる目標として学力向上がある。この話と学力向上というのは、間接的に密接で、通常学級内で困り感のある子どもたちがいるが、これを突き詰めていくと、就学前の相談が不十分で、もしかすると特別支援学級に入級させるのが相当だった子がいたかもしれない。今まできちんとした相談体制がないままに通常学級で受け入れているケースもあるので、相談体制を確立することで、ひいては学力向上に資するのではないかと考えた。

《5 高原町議会3月定例会一般質問について》

(3月定例会で説明済みのため省略)

《6 その他について》

(1) 令和2年度教育総務課職員の異動について

(2) 令和2年度教職員転出転入者について

(3) 令和2年度宮崎県市町村教育委員会委員・教育長会議について

(中止)

(4) 第31回神武の里総合武道大会について (中止)

末永課長

(上記(1)から(4)について資料に基づき一括説明)

福丸委員

高原町の学校のあり方検討会についての今後の進め方についてと高原町にある児童養護施設の「神武の家」についての入所者数と通学の状況について教えていただきたい。

末永課長

あり方検討委員会については、3月12日に予定していた検討会が延期になったということもあり、委員についても、校長、PTA会長等で構成されており、4月になり人事異動、PTA役員の変更もあるので最初から説明をしなければならないと考えている。私自身も教育長と細部を詰めていないので、今後どのように協議をしていくのか、町長

の意向等も聞きながら進めて参りたいと考えている。

外村係長 神武の家については、高原小学校5名、高原中学校4名、高校1名、支援学校中等部1名、高等部1名の合計12名となっている。

西田教育長 あり方検討委員会については3月12日に進める予定であったが、延期ということになり、いつ再開するかも未定ということで予測もつかないのでご理解いただきたい。

末永課長 新型コロナウイルス感染症高原町対策本部における町の方針について説明する。

- ・ 歓送迎会、懇親会、意見交換会は禁止。
 - ・ 教育長等へのあいさつについては受け付けない。
 - ・ 職員の会議や研修に係る町外への出張は、原則出席しない。
 - ・ 社会体育施設については、町民及び町内に属する団体のみ貸出。
- 上記は、4月9日から4月22日までの2週間。

酒井対策監 (学校始業に伴う新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて説明)

今西委員 臨時休業の間の授業は補えるのか。その場合は、学校で判断となるのか。

酒井対策監 1年生から5年生においては、その学校で引き継いで学習を行うということを各学校にお願いしている。特に6年生については、進学する中学校に、進度が各学校で違うから進学する中学校に引き継ぐようお願いしている。ただ6年生については、休業期間中は、例年まとめの時期となっているので、復習とかがおろそかになっている懸念があるので、習っていないというよりはその辺が弱くなっている感がある。そこは中学校で行っていただくことになる。各学校の進級する学年の中で実施していただくよう各学校に校長会を通じて伝えている。

今西委員 授業数の確保はどうなるのか。

酒井対策監 授業数を過度に増やしていくと、それが負担にもなっていくので、色んな工夫をしてやっていくことになる。単純に足りなかった授業を足していくことにするとみ出してしまうので、そこは柔軟に実施していただくように。そこは無理がないかどうか各学校に話している。今のところ、授業日数を増やさないとできないという報告は受けていない。ただ今後、また臨時休業になるということになると、その辺は考えていけないといけない部分がでてくると思われる。

福丸委員 　　また臨時休業になると、ストレスとか学力がおろそかになることは保護者として心配になるところである。今後町として対策を行わなければならないと考えるが、夏休みとかに授業を行うという考えはあるか。

酒井対策監 　　今後検討していくことになると思う。今の段階でははっきりとした結論は出ていない。各学校においてはサマースクールを拡充していくようなことも考えられる。今後その辺の動向を見極めていく。

(5) 次回教育委員会定例会について

西田教育長 　　次回定例会は、令和2年5月13日(水)午前9時30分から行います。全体的に何かありませんか。

後藤委員 　　出口の工事個所で現在通学路が今までの反対側に横断するようになっているが、学校側への周知とか教育委員会からの呼びかけとかはどうなっているか。

末永課長 　　ポディーショップ大迫から二本松交差点までの間で歩道の工事を行っている。4月6日に小林土木事務所、請負業者、高原小校長、建設水道課、教育委員会で現場の立ち合いを行っている。小林土木事務所、請負業者から、横断歩道を子どもたちが渡る際には、補導員をつけるという確約をいただいている。また一時通学路となる歩道の草刈も行うということである。ポディーショップ大迫からスクールゾーンも横断歩道とは逆の方向にあるが、用水路もあり、数回曲がり、押しボタン式の信号機で国道を渡ることになるので、可能な限り現在の通学路に近い形でお願いしたいとの校長先生の助言もあり、ポディーショップ大迫から横断歩道を渡り、歩道を通って、二本松交差点の信号を渡って、今の通学路に戻り学校に向かう経路で通学することとなった。帰りの際も誘導員をつけるということであるが、工事が無い日が心配な面ではあるが、子どもたちに十分注意するよう学校から指導を行うということである。

西田教育長 　　閉会を宣告する。

◎閉　　会

14時48分

議事録署名委員

西田次良

福丸幸治